

**目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	徘徊の激しい不穏な動きをされる入居者がおられる為やむを得ず施錠しているが、自由に外に出られない事による心理的抑圧感や不安があきらめや気力の消失に繋がっているのではないか。	鍵をかける事の異常性とデメリットを常に考え入居者の安全性を追求しながら自由な暮らしを支える取り組みを行う。	日中鍵をかける事を常態化させず落ち着かれている時は出来る限り鍵を開ける様に努める。出て行かれる気配を職員が見落とさない見守りや連携プレーに努める。出て行かれる事から関心をそらす様な工夫や対応に努める。	6ヶ月
2				外に出て行かれる様な雰囲気を感じたら止めるのではなくさりげなく声掛け一緒について行く等の安全面に配慮し自由な暮らしを支える様に努力する。	ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。